

2018年 年頭にあたって

2018.01.01

立命館大学技術士会

会長 大森 秀高

新年明けましておめでとうございます。

2018年が立命館大学技術士会の会員みなさまにとって、健康で、幸せな年となりますよう、心から祈念申し上げます。

昨年を振り返りますと、各地で地震が発生し、台風の直撃やゲリラ豪雨による浸水被害も相次ぎました。被災されました方々のご関係の皆さまには心からお見舞いを申し上げます。

最近のグローバル化の急速な進展は、国境を越えてヒトやモノが自由に行きかう「世界に開かれた社会」へと、社会そのものを劇的に変化させています。

また、技術の面でもめまぐるしい変化が見られます。AR（拡張現実）やVR（仮想現実）、人工知能（AI）といった技術がどんどん現実化してきております。1年前には研究段階だったものが、実用化され、精度が上がり、現場に普及し——と、短いサイクルで発展し、広がっていきます。ご自身の仕事に関連する分野の技術については、こまめにウォッチしておく必要があります。

さらに、少子高齢社会とともに、「ライフシフト＝人生100年時代」が到来しつつあります。我々の働く姿が、子どもたち、若者たちに輝いて見えるよう、一層の努力が必要となってくるでしょう。

当会は、会員相互の更なる充実した活動を促進することを目的とさせていただいております。先輩技術士には日頃の科学技術や業界に関わる思いや旬な話題のご提供をお願いし、若手技術士には研修成果や技術報告等の場として当会のイベントへのご参加や会報へご寄稿いただくことを期待しております。

自由闊達な意見交換や議論が出来る雰囲気作りに努めてまいります。会員の皆様の期待と叱咤の声で改善してまいりますのでご協力のほどよろしく願いいたします。